

ささえあい安心して暮らせるまちづくり

香美町 

社協だより

第208号
令和4年7月28日発行

編集・発行  社会福祉法人 香美町社会福祉協議会
〒669-6545 香美町香住区森31-1香美町香住地域福祉センター内
TEL 0796-39-2050 TEL 0796-36-2758 FAX 0796-39-2150
ホームページアドレス <https://www.kami-shakyo.org/>



とどけます みんなの元気 久々の夏まつり (香住区上計)

7月2日(土)に上計区で上計青年会による、神輿(みこし)の渡御(どぎょ)と夏まつりバザーがありました。

神輿は、約5年前から青年会が復活をさせましたが、コロナ禍に入り、3年ぶりの開催となりました。青年会の寺川公人さんは「まつりが子どもたちの楽しい思い出となり、それが次の世代につながって欲しい」と話されました。

●● 今月の主な内容 ●●

- 集落福祉活動研修会 …………… 2～3
- 令和3年度事業報告・決算報告 …… 4～5
- 「ボランティアセンターだより」
- 村岡福祉まつり …………… 6
- 善意銀行だより・収集ボランティア・社協のけいじばん …………… 7
- 防災体験学習会 in 村岡 …………… 8

少子高齢社会と

集落福祉活動

令和4年度集落福祉活動
研修会から

2019年に県が発表した「兵庫県将来推計人口」によると、香美町では2022年には約1万6千人ある人口も、約20年後の2040年には、は1万人を割る、9千20人となり、高齢化率も50%を超える予想されています。

つまり、約20年後には2人に1人が高齢者となります。

今後、人口が減り続けていく香美町で集落内の活動をどう展開していくかをテーマに、集落福祉活動研修会を6月25日に開催しました。

3会場全体で300人近い参加をいただき、ありがとうございました。

研修会では、社協事務局から住民同士のつながりづくり・見守りの進め方や社協事業についての案内をしました。



▲村岡会場

今の高齢者は…

(令和4年度版高齢社会白書より)

「高齢者」の定義は65歳以上の方を指しますが、近年では「高齢者」とひとくくりにするのは、現実的でないとされています。

その理由として、まず、65歳以上の就業率が平成23年と比べ、14ポイント以上増加しているからです。

また、情報機器の使用について、65歳〜74歳で「インターネットで情報を集めたり、ショッピングを

する」と答えた人が23.7%、SNS（フェイスブック・ラインなど）を利用すると答えた人が13.1%あるなど、65歳以上で現役世代と同じように働き、情報機器を使いこなしている人がたくさんいます。

そして、健康寿命もこの10年で男女ともに約2年、平均寿命も約1.5年延びています。

どんな時に生きがいを感じるか

高齢者の日常生活・地域社会への参加に関する調査から、生きがいを感じる程度について「生きがいを十分感じている」と回答した割合は22.9%でした。

この回答をした人の特徴は、
・近所の人とちよつとした付き合いをしている
・趣味が合う人と付き合い合っている
・親しい人がいる
・外出をまめにする

・情報機器（パソコンやスマートフォンなど）を使う
・仕事や社会活動をする

が挙げられています。

地域や社会の中で何らかのつながりや役割があり、生きがいを十分に感じながら生活することで、認知症予防や健康の保持に役立ちます。

少子高齢社会に加え、過疎も進行している香美町では、集落内のつながる場面や役割づくりがますます重要になります。

これは、高齢者だけでなく、全ての住民に当てはまります。



▲小代会場

集落福祉活動の 目的とめざすカタチ

集落福祉活動は、

集落内で住民一人ひとりの困

りごとを見逃さない

住み慣れた集落で安心して暮らし続けるという願いを実現することを目的とし「住民同士がつながり、気にし合う集落」という形で展開していきます。

しかし、いきいきサロンの代表者やスタッフの高齢化や集落内の人口減といった要因に加え、新型コロナウイルス感染症による自粛要請や緊急事態宣言などで、サロンの廃止や休止の相談が増えてきているのも事実です。先月号の社協だよりでも、つどい場はフレイル予防に必要な「栄養」「運動」「人とのつながり」と、そこから派生する見守り・安否確認などの全ての要素がある大切な場所と案内しましたが、それ以外にも、日常のちよっとしたことから集落福祉活動はできます。

例えば：

① 普段の暮らしの中で

(例) 散歩の時にあいさつなどをすることで安否確認や防犯活動になる。

畑仕事の合間に立ち話をすることで農業のノウハウを伝え合う。

ラジオ体操を一緒にすることで体力維持や介護予防になる。

② 見守り活動で地域の状況を知る・気づく。

(例) 井戸端会議で「最近、○○さんの家に新聞が溜っている」「民生委員に訪問の依頼をする」。

また、関わり合いのなかでできないことがある時は、公的なサービス（介護保険サービスや障害福祉サービス）を有効に利用しつつ、これまでどおり住民同士のつながりも続けていくことが大切です。

コロナ禍で人と人が直接、ふ

れ合うことが「密」とされ、配慮が求められました。

それは、「困っている」と SOS を出しにくくなっていることにつながっています。

「『つながる』ことによって暮らしに豊かさを加えることができます」「『気にし合う』ことによって個人の課題を地域全体でとらえることもできます」(近所福祉クリエイター 酒井保氏の講演より)

集落内での福祉活動が充実し、安心して暮らせる香美町となるよう、社協では住民の皆さんと活動していきます。

賛助会員 ご加入のお願い

本年度も賛助会員として、香美町社協の活動にご賛同・ご協力をいただける方を募集いたします。昨年度は288件の個人・事業所の皆さまにご加入いただき、ありがとうございました。

賛助会費は、社協の本所、各支所の窓口で受け付けるほか、「払込取扱票」を利用して、郵便局の窓口やゆうちょ銀行ATMからお振込みいただけます。

(賛助会費は、社会福祉法人が行う福祉事業への寄附となり、税制上の優遇措置が受けられます) 皆さまのご理解とご協力をお願いします。



▲ 香住会場

令和4年6月21日に開催された評議員会に於いて、事業報告と決算報告が承認されました。

事業報告

〔全体総括〕

令和3年度は、社協の第4次地域福祉推進計画の実施初年度でした。しかし、令和2年度に引き続き県内に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの新型コロナウイルス感染症に関する宣言の影響のため、サロン活動など人々が集う活動やボランティア活動は停滞したままとなりました。

しかし、介護保険事業や障害者相談支援事業、配食や外出支援サービスはコロナ禍でもサービスを継続していく必要があります。

事業所として、万全の感染防止策を講じながらサービス提供に努めました。

基本方針①

「ささえあいまちづくり」

集落福祉活動や福祉学習の推進、地域共生社会の実現に向け「住民主体の生活サービス」「支え合いの体制づくり」を進めました。



地域づくり人づくり応援助成事業
(町内3団体に助成金を配分)



冬のゴロゴロ解消！編み物教室
(小代区で冬期に2回開催)

- いきいきサロン、つどい場づくりの推進
- 福祉学習 ○防災体験学習 ○ボランティア活動の推進
- 屋根の雪おろし一部助成事業 など

基本方針②

「自分らしく暮らせるまちづくり」

相談支援体制の充実と当事者への支援や在宅福祉サービスの充実を進めました。



結婚相談所婚活支援セミナー
(令和4年2月)



ひとり暮らし高齢者のつどい
(令和3年10月に香住区で開催)

- 弁護士相談 ○福祉団体の支援 ○生きづらさのある人の支援
- 生活福祉資金、緊急小口支援資金 ○配食サービス
- 外出支援サービス ○ふれあい交流館、いこいの里 生きがい活動支援通所事業 ○元気デイサービス など

基本方針③

「安心・安全なまちづくり」

災害時の備えや介護保険事業・障害福祉サービスの推進しました

- 災害ボランティアセンター運営マニュアル・事業継続計画の作成
- 防災倉庫の整備 ○介護保険、障害福祉サービス事業の実施 など



業務継続計画に関する職員向け研修の実施 (令和3年10月)

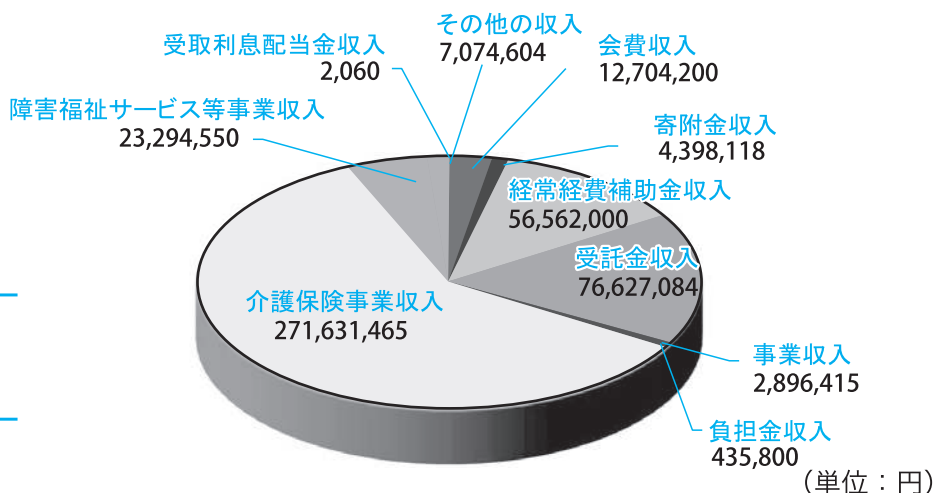


香住青年会議所・町・社協で災害時応援協定を締結 (令和3年6月)

令和3年度 資金収支決算報告

収入の部

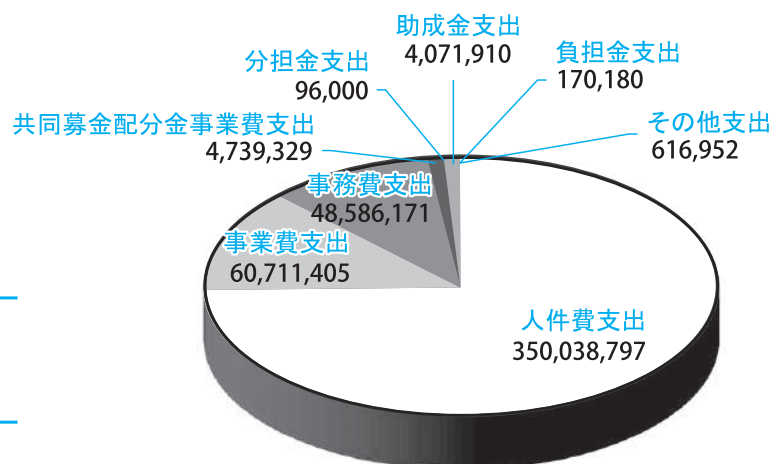
収入合計
455,626,296円



| 科目 | 決算額 | 摘要 |
|-----------------|--------------------|----------------------------|
| 会費収入 | 12,704,200 | 一般会費、賛助会費 |
| 寄附金収入 | 4,398,118 | 善意銀行寄附金 |
| 経常経費補助金収入 | 56,562,000 | 県、町、県社協補助金、共同募金 |
| 受託金収入 | 76,627,084 | 町受託事業、町指定管理施設受託料等 |
| 事業収入 | 2,896,415 | 介護用品斡旋、利用料 |
| 負担金収入 | 435,800 | 負担金 |
| 介護保険事業収入 | 271,631,465 | 介護保険サービス報酬、利用料 |
| 障害福祉サービス等事業収入 | 23,294,550 | 日中一時支援、居宅介護等障害福祉サービス報酬、利用料 |
| 受取利息配当金収入 | 2,060 | 利息配当金 |
| その他の収入 | 7,074,604 | 雑収入等 |
| 事業活動収入合計 | 455,626,296 | |

支出の部

支出合計
469,030,744円



| 科目 | 決算額 | 摘要 |
|-----------------|--------------------|------------------------------|
| 人件費支出 | 350,038,797 | 職員人件費、役員報酬 |
| 事業費支出 | 60,711,405 | 介護保険、地域福祉、ボランティア、受託事業等 |
| 事務費支出 | 48,586,171 | 業務委託費、光熱水費、通信運搬費、修繕費 |
| 共同募金配分金事業費支出 | 4,739,329 | 歳末たすけあい運動配分金、返還金(令和4年度事業に繰入) |
| 分担金支出 | 96,000 | 各種団体等分担金 |
| 助成金支出 | 4,071,910 | 各種団体・事業・屋根の雪おろし等助成 |
| 負担金支出 | 170,180 | 負担金 |
| その他支出 | 616,952 | 雑支出 |
| 事業活動支出合計 | 469,030,744 | |

※事業報告書・決算報告書については、社協本所・各支所で閲覧いただくこともできます。

ボランティアセンターだより

村岡福祉まつり

6月19日(日)、村岡老人福祉センターで「村岡福祉まつり(西尾高雄実行委員長)」が開催されました。

村岡福祉まつりは町内のボランティアグループ・福祉団体で構成される実行委員会主催で、村岡高等学校ボランティアサークルの協力も得て、地域住民の福祉意識の高揚を図ることを目的に開催されています。

終息が見えないコロナ禍での開催は3年ぶりです、実行委員の中でも様々な意見や迷いがありました。しかし、「イベント自粛が続いている中で村岡福祉まつりを開催し、住民皆様の生の声を聞いてみるのもいいのでは」と西尾実行委員長の一声に、実行委員の心に火が付き団結しました。

感染防止のため規模を縮小し、密を避けたバザーでは2か所のフロアを使い、福祉団体等5団体に絞り販売を行いました。

メインステージのオープニングでは、村岡高等学校生「南中ソーラン」の迫力ある力強い演舞に、来場者は魅了され、会場は熱気に包まれました。

また、香美町役場地域包括支援係の山本美樹氏を講師にお迎えし、コロナ禍で大注目されている「フレイル予防」について、日々の運動から筋力低下を防ぎ、たんぱく質を意識した食事、人との交流が予防につながるとお話いただきました。



3年ぶりの福祉まつりによろこそ!



体を動かし、心身ともに活性化!

元気体操サークルの取り組み紹介や、村高元気体操「南中ソーラン編」では来場者と一緒に体を動かし、会場中一体感が生まれました。

町内の80代女性来場者は、「バスに乗って来ました。久しぶりに会えた方もいて、とても楽しかった。体操もして頑張ったしお土産も。やっぱりまつりはいいね」と両手いっぱいのお土産を見せてくださいました。

町内だけに限らず、多くの方に会場いただき、改めて交流の大切さを共に感じています。

ただけたのではないのでしょうか。コロナ禍は続いています。様々な方にご協力いただき開催できたことに感謝し、これからも地域住民とふれ合いながら、人と人とのつながりを大切に福祉の輪を広げたいと思います。

ご寄付いただきました

福祉まつりのバザーに出品いただいた澤田篤様(香住区香住・陶芸作品)と藤澤まどか様(小代区水間・手芸作品)より、バザーの売り上げ全額を善意銀行にご寄付いただきました。ありがとうございました。



とち餅おいしそう～。ねえ買おうよ!

社協のけいじばん



令和4年 8月

| 日時 | 内容 | 場所 | 備考 |
|-----------------------|------------------|------------------------|-------------------------------------|
| 1日(月) 13:30~15:30 | 認知症カフェ 「えんがわ」 | みんなの家 (香住区七日市249) | 参加費 100円/1人 (茶菓子代) |
| 23日(火) 13:00~16:00 | 法律相談 | 香住文化会館 (香住区香住100-2) | 無料、1人/30分 (予約が必要です) 弁護士 野崎 奈央子 氏 |
| 24日(水) 12:00~14:00 | かあちゃん食堂 | みんなの家 (香住区七日市249) | 500円/1食 予約をしてお越しください。 |
| 25日(木) 9:30~11:30 | 結婚相談 (ほっとHOT) | 村岡区中央公民館 (村岡区村岡396) | 無料 (予約不要。当日、会場へお越しください) |

各種相談は町内どこでも受けることができます。
本所、各支所にお気軽にご相談ください。

※相談はいつでも無料です。

※秘密は厳守します。

※感染症の状況により、事業を中止・延期することがあります。

お問合せは

香美町社会福祉協議会

香住区(本 所) ☎(0796)39-2050

村岡区(村岡支所) ☎(0796)98-1000

小代区(小代支所) ☎(0796)97-2202

この記事につきましては、ホームページ上での
氏名公開承諾を得ておりませんので、個人情報
保護により、掲載を控えさせていただきます。

*善意銀行だより

(令和4年6月1日～30日)
(行政区順・敬称略)

*収集ボランティア

(令和4年6月1日～30日)
(行政区順・敬称略)

スタッフ
募集

小学生対象 防災体験学習会 in 村岡

昨年度に引き続き2回目となる小学生対象の
防災体験学習会を村岡で開催します



～防災体験学習会では
どんなことをするの?～



NPO 法人プラスアーツが発案した、子どもとご家族を
対象とした防災訓練です。

- ・水消火器的当て
- ・お家の防災グッズなあとクイズ等

ゲーム感覚で体験でき、楽しみながら
「消火」「救出」「救護」等を学べる防災体験です。

この体験のブースの運営をしていただくボランティアスタッフを募集します。
8月に事前研修会を予定していますので一から方法を学べます。

昨年度の香住会場にボランティアスタッフとして参加された多田好江さんは、
「コースを回る子どもたちの笑顔がキラキラ輝いてステキでした。私自身の防災への
知識や意欲も高まり感謝です」と話してくださいました。

ご協力をよろしくお願いいたします。

～事前研修会について～

- 日時：令和4年8月29日（月）13：30～
- 場所：村岡老人福祉センター3階 大集会室
（社協村岡支所・村岡区村岡305-1）
- 内容：概要説明、各防災体験プログラムの詳しい説明と実演



昨年度の事前研修会

～防災体験学習開催日～

- 日時：令和4年10月1日（土）13：00～15：30
※ブース設営は10時30分からします。
- 開催場所：村岡体育館（香美町村岡地域局横・村岡区村岡396）
- 内容：防災体験プログラムのブース運営



[申込・問合せ先] 香美町社会福祉協議会村岡支所 ☎ (0796) 98-1000

